

せら高原「稻・麦・大豆 2年3作」の取り組み

せら高原では、「省力・低成本栽培技術」を実践し、「環境にやさしい栽培技術」や「安定栽培技術」による「稻・麦・大豆 2年3作」に取り組んでいます。

最新版 稲づくりのポイント

省力・低成本栽培技術

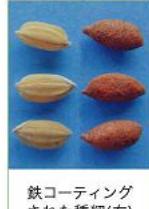
- ・直播(カルバー, 鉄コーティング)
- ・乳苗
- ・疎植

直播とは・・・

田んぼに種もみを直接まくこと。苗の手間を省きます。

「鉄コーティング種子直播栽培技術」

JA尾道市世羅営農センターで、(独)近畿中国四国農業研究センターの指導により、技術開発に取り組んでいます。農閑期でも鉄コーティングができる、効率的です。



鉄コーティングされた種もみ(右)

環境にやさしい栽培技術

- ・種粉温湯消毒
- ・土づくり
- ・減農薬・減化学肥料栽培
- ・生きものの生息空間を確保(ビオトープ・水管理)

種粉温湯消毒とは・・・

種もみの殺菌・殺虫をお湯ですること。

稻は芽を出す前から「いもち病」等の病原菌や線虫等、多くの危険にさらされています。稻を守るために欠かせない種もみの消毒を、農薬を使わずにお湯で行う方法です。



最新版 麦づくりのポイント

省力・低成本栽培技術

- ・不耕起播種
- ・浅耕播種
- ・部分耕播種

不耕起播種・浅耕播種・部分耕播種とは・・・

耕起と種まきを同時にすること。

通常、種まき作業は、トラクターで耕し、その後、専用の播種機で行います。トラクターに播種機も取り付けて、耕すと同時に種をまく省力的な方法です。



麦畠と農事組合法人「い～ね伊尾」の皆さん

安定栽培技術

- ・土づくり
- ・ほ場排水対策
- ・ブロックローテーション

ブロックローテーションとは・・・

麦・大豆畠を1カ所に集めること。湿害を防ぎます。

田んぼの広がる中に、麦・大豆の畠が点々と配置されてあると、田んぼの水の影響で、麦・大豆の種が腐ったり、根が窒息したりして、収穫量が減ってしまいます。畠を1カ所に集めた団地(ブロック)にすれば、湿害を受けにくくなります。



最新版 大豆づくりのポイント

省力・低成本栽培技術

- ・狭畦栽培
- ・不耕起播種
- ・大規模機械化一貫体系

狭畦栽培とは・・・

うね間を狭くして栽培すること。雑草を抑えます。

通常、種まきを60cm間隔のすじ状に行い、1ヶ月後に除草をかねて、うね間を耕し、土寄せをする中耕培土を行います。狭畦栽培は、すじ間隔を30cmと狭くして、大豆の生育によって雑草を抑える方法です。除草剤の改良によって可能となった技術ですが、梅雨明けの炎天下で行う中耕培土を省けるのが強みです。



種まき作業を終えて農事組合法人「さわやか田打」の皆さん

安定栽培技術

- ・土づくり
- ・ブロックローテーション
- ・ほ場排水対策

土の中の腐植を増やす

ふかふかした土にするためには、有機物として完熟堆肥を補給するのが一番です。せら高原は畜産も盛んで、良質な堆肥が手に入りやすいのが強みです。

